

付表1. プロジェクトにおける「現象」と「みえる化事例」

	流れ	カテゴリ	項目	現象	みえる化の事例	
1	見える化	問題	異常	・品質異常になっている (単体テスト工程でバグが想定以上に発生しテストケースが消化できない状況になっている。連結テストで単体テストレベルのバグが多発している。)	・進捗報告資料の進捗状況報告欄、品質状況報告欄に「お天気マーク」を入れる 「お天気マーク」とは、順調であれば晴れマーク、不調であれば雨マークなど、状況を天気に例えて表現したもの	
2				・工数(コスト)が大幅にオーバーしている ・スケジュールが大幅に遅れて、予定したスケジュールで工程を終了しそうでない状況になっている		
3						ギャップ
4			・予定したコストに対して実績が乖離している ・連結テストでバグ密度が予想値と乖離している	・EVMでのCV (コスト差異) ・バグ曲線での、予想バグ数と検出バグ数の差		
5				シグナル	・プロジェクト計画時、リスクの評価値が高いものが多い状態である	
6			・リスクの評価値が高くなり始めている ・残業時間が増え始めている		・リスクの評価値の推移をグラフで示したもの(付録2) ・残業時間の変化を表・グラフで示したもの(付録4)	
7					・課題の発生件数が異常に多くなり始めている	・課題の発生件数、未解決件数の推移を表・グラフで示したもの(付録5)
8			状況	基準	・休みがちな人が増え始めている	・休日社人数の状況を表・グラフで示したもの ・無断欠勤、休暇日数の状況を示したもの
9					・レビューの指摘事項が多過ぎるかなと感じる ・テストでの初期段階でバグ数が多すぎるのではないかと感じる	・レビューの指摘事項件数を表・グラフで示したもの ・バグ曲線でバグ数を表・グラフで示したもの
10						・標準書、手順書、ガイドライン、ルール等
11				プロジェクト計画	・EVMでのPV (出来高計画値) ・EVMでのPV (出来高計画値)	
12					・EVMでのPV (出来高計画値) ・EVMでのPV (出来高計画値)	
13				ステータス	・要員計画ベースライン	・収支計画を表・グラフで示したもの ・収支計画を表・グラフで示したもの
14					・組織の標準(テスト密度・バグ密度)	・組織のテスト標準等で明示されたもの
15					・予定したスケジュールに対して実績が示されている	・ガントチャートでの、実績の差 ・EVMでのEV (出来高実績値) ・EVMでのAC (コスト実績値)
16				・予定したコストに対して実績が示されている ・計画されたタスクの進捗状況示されている (実装した機能数・実装したソースコードの行数のカウンタ数・テストケースの消化状況・テストでバグの修正状況 など)		・EVMでのAC (コスト実績値)
17						・進捗状況報告書に記述された実績を表・グラフで示したもの
18			・リソース(要員数・費やしたコストなど)の状況が示されている		・リソースの状況を表・グラフで示したもの ・作業工数実績を表・グラフで示したもの	
19					真因	・プロジェクトで発生した問題の原因がどこにあるか明確に示されている <原因の所在の例> ・プロジェクト計画・要件管理・品質管理・進捗管理・構成管理・コミュニケーションなど ・要件定義・設計・製造、テストなど ・顧客・社員・協力会社
20			効果	・異常・ギャップに示されている現象が改善されている		
21					問題	
22			直せる化	問題		
23						
24						
25						